

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名					公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）	単位：円
事業内容	小学校施設の少額の維持修繕を、一括管理委託方式により迅速かつ効率的に実施し、安全、安心な施設環境に資する。			計画値	対象施設：小学校 11校	
	成果	一括管理委託方式により、校舎、屋内運動場などの必要な維持修繕を行い、安全、安心な施設環境を図る適正な維持管理に努めた。 修繕料 6,439,440円（修繕件数75件）			実績値	対象施設：小学校 11校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,440,000	6,439,440					6,439,440

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名					公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）	単位：円
事業内容	中学校施設の少額の維持修繕を、一括管理委託方式により迅速かつ効率的に実施し、安全、安心な施設環境に資する。			計画値	対象施設：中学校 8校	
	成果	一括管理委託方式により、校舎、屋内運動場などの必要な維持修繕を行い、安全、安心な施設環境を図る適正な維持管理に努めた。 修繕料 5,213,250円（修繕件数55件）			実績値	対象施設：中学校 8校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,250,000	5,213,250					5,213,250

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名					公共施設ロングライフ事業費（公民館）	単位：円
事業内容	少額の公共施設維持修繕を集合処理することで、迅速な維持管理を図る。			計画値	実施個所：10件～ 15件	
	成果	照明器具、ガラス、トイレ等の小規模修繕を迅速に実施することができた。安全で快適な施設利用サービスの提供を図ることができた。			実績値	実施個所：16件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,600,000	1,592,850					1,592,850

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事業名		高齢者スポーツ大会費								単位：円	
事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。						計画値	大会数 5 回 参加者数 1,575人			
	成果	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 第3回さわやかスポーツ大会（7月18日、500人参加） 第3回グランド・ゴルフ大会（8月22日、98人参加） 第20回いきいきシルバースポーツ大会（9月6日、83人参加） 第3回シルバー室内競技大会（3月3日、600人参加）						実績値	大会数 4 回 参加者数 1,281人		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
471,000		460,472								460,472	

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事業名		老人クラブ育成指導費								単位：円	
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。						計画値	単位クラブ数 69団体 事業回数 5 回 会員数 3,580人			
	成果	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 第40回岩手県老人クラブ大会参加（10月22日、22人参加） 第3回シルバー文化祭（展示部門、11月1～3日） 第3回シルバー文化祭（舞台部門、11月18日） 「遠野今昔～山ひだに生きる（第3集）」発刊 リーダー研修会（1月13日、214人参加） 第2回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月17日）						実績値	単位クラブ数 69団体 事業回数 5 回 会員数 3,243人		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,042,000		3,040,063		1,981,000						1,059,063	

3 款		民 生 費		2 項		児 童 福 祉 費		1 目		児 童 福 祉 総 務 費	
事業名		青少年健全育成活動事業費								単位：円	
事業内容	遠野市少年センター活動費 青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。						計画値	少年委員活動回数 延1,080回			
	成果	遠野市少年センター活動費 少年委員を市内全部で90人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、列車補導、合同補導を実施した。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。						実績値	少年委員活動回数 延 645回		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,758,000		3,148,931								3,148,931	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
事業名		健康スポーツプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	<p>「健康づくり総合プログラム」の活動拠点である「健康づくり総合大学・とすば」を運営する。</p> <p>市民一人一人がそれぞれの年齢や健康状態に応じて積極的に取り組むことができる健康づくりに関する各種プログラムを実践する。</p> <p>本校は保健・生涯学習分野と協働し、保健・スポーツ・生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践する。また、市内9地区センターをサテライト校として主にスポーツプログラムを実践する。</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり総合プログラムの実践 健康づくり総合大学祭ホッススポーツの集いの開催
	成果	<p>本校、サテライト校で各種プログラムを実践し、多くの市民が年間を通じて健康づくり活動に取り組める環境を整えたことで、運動をはじめとした健康づくり活動を継続して行う市民が増加した。</p> <p>また、地域で自主的に運動教室等の活動をするグループが増えてきていることから、「とすば」での健康づくり活動の継続が、仲間づくり、地域づくりへとつながっているといえる。</p>			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
3,800,000		3,494,612		国県支出金	一般財源
				地 方 債	そ の 他
				3,494,612	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
事業名		地域健康づくりプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	<p>子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が身近な施設を活動拠点として、自主運営しながら複数のスポーツ種目を楽しむことができるよう、市内9箇所に「総合型地域スポーツクラブ」を発足させ、更なる普及啓発と活動支援、種目別ジュニアスポーツクラブの育成を図る。</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 市内9ヶ所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ジュニアスポーツクラブ創設・支援
	成果	<p>市内各町に9つの総合型地域スポーツクラブが自主的な活動を行うとともに、「とすば」と連携し、市民への健康づくり意識の啓発、活動の推進が図られた。</p>			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
490,000		489,235		国県支出金	一般財源
				地 方 債	そ の 他
				489,235	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
事業名		子どもの体力づくりプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上や運動能力向上、望ましい生活習慣の改善・形成 生活習慣改善運動の展開による早寝・早起き・朝ごはん運動の推進 チャレンジ徒歩通学の推進 走り方講習会の実施 運動能力向上トレーニングの実施 新体力テストの分析 就学前幼児の運動教室の実施 広報誌（ニュースレター）の発行 キッズ元気アップ応援隊による子どもの体力づくり向上推進 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト結果の向上 50m走、国・県平均を目標とした取組 体力テストの分析 キッズ元気アップ応援隊による就学前児童の運動機会の提供
	成果	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト実施項目96項目（男女とも48項目、学年8項目）で74項目（77%）が全国平均を上回った。 各小学校で運動能力向上トレーニングを実施し、運動能力の向上が図られた。 チャレンジ徒歩通学強化月間（10月）を市内全児童を対象に実施。22日完歩児童は70%で、前年対比3%の増。 キッズ元気アップ応援隊を実施し、就学前幼児に様々な動きを遊びの中から体験させることができた。 			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
2,000,000		1,778,699		国県支出金	一般財源
				地 方 債	そ の 他
				1,778,699	

5 款	労 働 費	1 項	労 働 諸 費	2 目	勤労青少年ホーム管理費		
事業名		勤労青少年ホーム運営事業費			単位：円		
事業内容	1 定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導 (定期利用団体6団体、その他不定期利用団体4団体) 2 県内勤労青少年ホームとの交流会等への派遣 岩手県勤労青少年ホーム協議会及び各県内ホームで行われる事業・イベントに参加し、活動する青年との交流を図る。 3 遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 当ホームを遠野市青年団体協議会に平成20年4月1日から平成21年3月31日までの年間120日、1日3,000円で夜間管理委託する。			計画値	定期利用申請団体の利用 8 団体		
	成果	・定期利用団体の活動を助言・指導した。 年間を通して、音楽室・集会室など219回の使用があり、延1,576人が利用している。 ・県内勤労青少年ホームとの交流を行った。 定期総会5月 県内ブロック研修会7月 機関誌「もえ木」発行(原稿作成)			実績値	定期利用申請団体7団体(トオヌップ11名 墨遊会8名 英会話9名 混声合唱10名 バンド4名 バンド6名 バンド5名)	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,710,000		4,347,072					4,347,072

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	1 目	教 育 委 員 会 費		
事業名		教育委員会費			単位：円		
事業内容	教育委員会運営費用で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に掲げる教育に関する事務を管理及び執行する。			計画値	定例会開催 12回 臨時会開催 随時 委員協議会開催 随時		
	成果	教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 議案審議件数(36件)、協議件数(9件)			実績値	定例会開催 12回 臨時会開催 4回 委員協議会開催 8回	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,385,000		2,972,170					2,972,170

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名		事務局一般事務費			単位：円		
事業内容	教育行政の推進にあたり必要となる人件費、需用費、役務費、負担金・補助金等の一般事務費。			計画値	遠野市教育振興基本計画検討委員会 4回 中学校再編成に係る説明会 51回 事業支援団体数 2 団体		
	成果	適正な予算執行のもと各種事務及び事業を円滑に実施した。また、学校保健会、遠野高校情報ビジネス校振興協議会に対し補助金を交付し、各団体の活動への支援を図った。 さらには、将来における遠野市の教育の振興と歩むべき基本方向を示す教育振興基本計画を策定するとともに、中学生のより良い教育環境の実現を目指し、市民の意見、提言を取り入れながら、中学校再編成計画案を取りまとめた。 事務局職員人件費 62,490,715円(給料、職員手当、共済費)			実績値	遠野市教育振興基本計画検討委員会 5回 中学校再編成に係る説明会 57回 事業支援団体数 2 団体	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
86,602,000		84,680,966					84,680,966

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費
事業名		学校保健管理費			単位：円
事業内容	学校保健法に基づき、小学校に入学する予定者に対し、あらかじめ健康診断等を行い、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。			計画値	就学時健診対象児童数 245人
成果	平成21年度に小学校へ入学する子供を対象に、10月2日から11月26日にかけて、市内各小学校で健康診断等を行い、事前に子供たちの心身状況を把握し、義務教育の円滑な実施に資することができた。			実績値	就学時健診実施児童数 230人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
495,000	396,458				396,458

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費
事業名		私立幼稚園運営費補助金			単位：円
事業内容	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営に要する費用に対し補助を行う。			計画値	私立幼稚園 2園
成果	私立幼稚園の健全な運営に寄与し、市内の幼児教育の振興が図られた。 ・光の園幼稚園 60人 550,000円 ・聖光幼稚園 62人 555,000円			実績値	私立幼稚園 2園
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,105,000	1,105,000				1,105,000

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費
事業名		私立幼稚園就園奨励事業費			単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の所得状況に応じて、私立幼稚園の設置者が徴収する保育料等を減免する設置者に対し、その減免分の補助を行う。			計画値	対象園児数 98人
成果	保護者の所得状況に応じて保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興に資した。 ・光の園幼稚園 50人（3歳児18人、4歳児9人、5歳児23人） ・聖光幼稚園 54人（3歳児13人、4歳児23人、5歳児18人）			実績値	対象園児数 104人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,647,000	8,265,300	2,195,000			6,070,300

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					私立幼稚園保育料助成事業費	単位：円	
事業内容	遠野わらすっこプランの経済的支援策として、私立幼稚園に就園する園児の保育料を助成する。 平成19年度までの子育て支援事業に代わる事業で、第3子以降無料化から全体的な保育料の軽減を図る。 ・第1子園児の保育料を規定基準額から5%軽減 ・第2子園児の保育料を規定基準額から10%軽減 ・第3子以降園児の保育料は月額 4,800円の有料				計画値	保育料助成園児数 118人	
	成果	全体的な保育料の助成を行うことで、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境をつくることに寄与した。 保育料助成園児数 123人 ・第1子園児 57人 ・第2子園児 44人 ・第3子以降園児 22人				実績値	保育料助成園児数 123人
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,096,000		3,911,993					3,911,993

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円	
事業内容	市内に組織された地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図る。また、宮守町（小学校単位3地区）への地域教育協議会の設置に取り組む。 1 遠野町地域教育協議会 2 綾織町地域教育協議会 3 小友町地域教育協議会 4 附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 5 松崎町地域教育協議会 6 土淵町地域教育協議会 7 青笹町地域教育協議会 8 上郷町地域教育協議会 【設置を計画する地区】 9 宮守地区 10 達曽部地区 11 鱒沢地区				計画値	地域教育協議会設置数 11地区	
	成果	市内9地区の地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図った。また、宮守町（小学校単位3地区）に地域教育協議会が設置され、市内全地区に、学校・家庭・地域社会における教育の充実を地域ぐるみで実践する地域教育協議会の体制が整った。 1 遠野町地域教育協議会 2 綾織町地域教育協議会 3 小友町地域教育協議会 4 附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 5 松崎町地域教育協議会 6 土淵町地域教育協議会 7 青笹町地域教育協議会 8 上郷町地域教育協議会 9 達曽部地域教育協議会（平成20年7月2日設置） 10 鱒沢地域教育協議会（平成21年3月17日設置...補助金支出なし） 11 宮守地域教育協議会（平成21年3月22日設置...補助金支出なし）				実績値	地域教育協議会設置数 11地区
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
550,000		405,200					405,200

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	単位：円	
事業内容	スクールガードリーダーによる学校巡回及び通学路等の安全評価の実施、スクールガード（地域安全ボランティア）の養成を行い、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。				計画値	スクールガードリーダー活動計画 時間数 479時間	
	成果	スクールガードリーダーによる市内全学校の巡回、通学路の安全点検及び安全パトロール等をきめ細かく実施するとともに、スクールガードと連携した見守り活動を効果的に行い、地域社会で学校安全に取り組むことができた。				実績値	スクールガードリーダー活動実績 時間数 479時間
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
510,000		509,534		500,000			9,534

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					学校教育一般事務費	単位：円
事業内容	<p>学校教育に関する庶務一般。関係会議等の開催。また、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。</p> <p>さらに学校教職員の研修事業として臨時任用教員研修会、幼稚園・保育園・小学校交流会、知能検査テスター講習会を開催する。</p> <p>また、遠野市生徒指導推進協議会、岩手県ことばを育む親の会、遠野市特別支援教育研究会事業への補助を行う。</p>			計画値	指導主事の派遣回数	83回
					研修会の開催件数	3回
成果	<p>様々な教科の指導主事の派遣によって校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上につながることが出来た。</p> <p>また、各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育の一層の充実が図られた。学校教育関係団体への補助についてもそれぞれの団体への支援を行うことが出来た。</p> <p>予算額のうち30,799,000円は人件費（給料、職員手当、共済費）</p> <p>決算額のうち30,669,306円は人件費（給料、職員手当、共済費）</p>			実績値	指導主事の派遣回数	122回
					研修会の開催件数	3回
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
31,644,000		31,305,654				一般財源
						31,305,654

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					文化行事奨励費	単位：円
事業内容	<p>市内小学校音楽祭の開催、市内小中学校作品展の開催、小中学校作文コンクールを実施する。作文コンクールでは入賞作品を集めた児童生徒文集遠野を発行する。</p>			計画値	音楽祭の開催	1回
					作品展の開催	1回
成果	<p>小学校音楽祭は遠野テレビで放送することで、より多くの市民に対して視聴する機会を与えることが出来た。</p> <p>作品展、作文コンクールについては多くの児童生徒の応募の中から優秀作品に対して表彰を行い、最優秀作品（小6、中3）については教育文化奨励賞への推薦も行った。また、作品展については、とぴあに展示することによりより多くの市民に見てもらうことができた。</p>			実績値	音楽祭の開催	1回
					作品展の開催	1回
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
378,000		314,857				一般財源
						314,857

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					外国人講師招へい事業費	単位：円
事業内容	<p>中学校の英語教育や小学校の国際理解教育の支援を図るため、外国語指導助手（ALT）を招へいし、国際化に対応できる英語力の定着と、国際理解教育の推進を図る。</p>			計画値	派遣学校数	19校
					派遣日数	355日
成果	<p>児童生徒は外国語指導助手から生きた英語を学ぶことができた。</p> <p>中学校においては「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。</p> <p>小学校では、国際理解教育を進めることによって、「英語に興味を持つ児童」の育成を図るとともに、中学校で学習する英語の基礎能力向上につながっている。</p>			実績値	派遣学校数	19校
					派遣日数	350日
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
8,653,000		8,202,790				一般財源
						8,202,790

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
事業名		就学指導委員会費			単位：円
事業内容	就学指導委員会を開催（3回）して、市内小中学校の児童生徒の就学に関する判断、支援を行う。			計画値	就学指導委員会の開催回数 3回 知能検査研修会の開催 1回
成果	就学前の児童については、知能検査等各種、教育相談を経て、よりよい就学環境を整えることが出来た。また、知能検査の実施にあたり事前に講習会を開催し、就学指導委員会に備えることが出来た。			実績値	就学指導委員会の開催回数 3回 知能検査研修会の開催 1回
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
464,000	369,705				369,705

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
事業名		学校教育専門員配置事業費			単位：円
事業内容	学校教育専門員1名を配置し、市内小中学校19校に対して訪問指導を行う。 学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導支援を行い、教員の指導力の向上を図った。			計画値	実施校 19校 訪問日数 96日
成果	学力向上に関する指導・支援を行うことを通して、教員の指導力向上を図り、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるよう指導、助言を行った。			実績値	実施校 17校 訪問日数 55日
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
376,000	147,710				147,710

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
事業名		適応支援相談員配置事業費			単位：円
事業内容	適応支援相談員を中学校1校に1名配置し、学校・家庭・地域・関係機関等との連携を強化し、不登校生徒の学校適応を図るとともに、配置中学校区内の小中学校を訪問し、児童及び保護者との相談活動により学校不適応問題の未然防止と小・中学校の連携を推進する。			計画値	配置校数 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 608時間
成果	生徒、教員のカウンセリング・助言、不登校生徒への対応を行った。学級担任、相談担当、養護教諭との定期的な情報交換を行うことで、教職員が統一した方針によって対応することができた。 また、養護教諭との連携、家庭訪問や電話連絡により家庭との調整を行い、不登校生徒の心身の健康や家庭環境について把握し、継続的、効果的な支援を行うことができた。			実績値	配置校数 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 608時間
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
900,000	802,710	679,000			123,710

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					子どもと親の相談員配置事業費	単位：円
事業内容	子どもと親の相談員を小学校1校に1名配置し、広く児童の心の問題に相談等に対応するとともに、家庭、友人関係、地域、学校等の環境の問題に対応するため、保護者や教職員への支援や学校体制のサポート、さらには関係機関との連携をとりながら問題の解決を図る。			計画値	配置校 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 350時間	
成果	保護者への相談、支援を行うことで学校と保護者の相互の信頼関係が築けた。また児童との相談においては、教職員の指導が実るようにふれあいの時間を大切にして相談にあたり、対象児童の担任につなげた。また、児童相談員とも連携をとりながら、情報交換や家庭訪問を行い、問題の理解と解決を図ることができた。			実績値	配置校 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 350時間	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
439,000	438,160	438,160				

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円
事業内容	市内小中学校19校が、それぞれに企画・立案した事業計画をもとに、各校が地域の歴史・文化・伝統を生かして、農業体験、伝統芸能、地域理解学習等に取り組む。			計画値	実施校 19校 児童生徒の地域理解度 80%	
成果	事業が展開される中で、学校と地域と家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校及び特色のある学校づくりを推進することができた。今年度の重点は地域理解学習であったが、各校の事業終了後に教員を対象に児童生徒の地域理解度に関してのアンケートを実施したところ、児童生徒が地域に対する理解を深めたと9割以上の教員の回答があったことから、本事業の実施によって児童生徒の学習の推進が図られたと考えられる。			実績値	実施校 19校 児童生徒の地域理解度 93.07%	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,900,000	1,826,959			1,824,000	2,959	

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					特色ある学校づくり事業費（豊かな体験活動推進事業費）	単位：円
事業内容	宮守小学校5年生17名が、豊かな人間性や社会性を育むことを狙いとして市内（宮代地区、附馬牛地区）で3泊4日の農家宿泊及び農業体験、自然体験等の活動を行う。 また、本事業は県の調査研究事業であるため、その成果については報告集等で広く周知を行う。			計画値	実施校 1校	
成果	参加児童は民泊や農業体験等を通して多くの人と触れ合うことにより、挨拶や応答などといった、人との関わり方を体得することができた。また、農業や郷土の食文化に直接触れるという体験を通して、地域の産業に対する興味関心が高まった。 市内の農家への宿泊による体験活動となったが、普段生活している学区や家庭を離れて様々な体験を行うことでも十分に当初の目的が達成された。 また、活動の内容を報告集にまとめたり、東北・北海道の交流会（報告会）等で実施内容を発表することで、広くその成果を周知することができた。			実績値	実施校 1校	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,029,000	1,025,595	1,025,595				

10款	教 育 費	1項	教育総務費	2目	事務局費		
事業名					いわてコミュニティ・スクール推進事業費	単位：円	
事業内容	<p>学校長のリーダーシップによる、検証可能な「目標達成型の学校経営計画」を策定し、その目標を実現する家庭や地域と協働する学校経営の実施のために、特色ある地域との連携によるモデル的な学校経営を推進する。</p> <p>遠野北小学校を実施校として、キャリア教育の視点を生かした郷土理解学習の推進を展開する。学年毎に学習テーマを設定し、直接体験を通じて地域の産業・自然・人・文化・歴史等についての学習を推進する。</p>			計画値	実施校	1校	
	成果	<p>キャリア教育の視点を生かした郷土理解学習が実施され、地域の人・自然・歴史・文化等を直接体験学習をすることにより、児童に感動的な喜びを与えることができた。これまで体験できなかった遠距離の神社、仏閣の史跡、工場施設等の本物を見るよい機会となった。</p> <p>地域の人を講師に迎え、地域の歴史や文化、自然についての講話を聞いたり、昔話で聞いた民話の題材を生かして、学習発表会で全校児童や保護者に発表したり、まとめの冊子づくりに発展させ、学習の成果を挙げることができた。</p>			実績値	実施校	1校
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
200,000		200,000		200,000			

10款	教 育 費	1項	教育総務費	2目	事務局費		
事業名					ふるさと学校体験推進事業費	単位：円	
事業内容	<p>武蔵野市の小学校児童20名を遠野市立小学校3校で受け入れ、交流を行う。児童の家庭を中心に市内10軒でホームステイを行いながら6泊7日の日程で体験留学を行う。</p>			計画値	受入児童数	20名	
	成果	<p>武蔵野市の児童を受け入れ、市内児童との交流を図ることができた。5年目の今年度は予定募集人員を超える申込みがあり、この事業の定着度がつかえた。各受け入れ校では、それぞれ特色ある授業のなかに武蔵野市の児童を加え交流を図っていただいた。</p>			実績値	受入児童数	19名
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
302,000		230,938					230,938

10款	教 育 費	1項	教育総務費	2目	事務局費		
事業名					平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円	
事業内容	<p>根城南部氏の縁でつながりのある遠野市、八戸市、七戸町の児童がそれぞれの市町を訪問し、相互に交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や、公衆道徳などの体験を積む。</p>			計画値	参加児童	26名	
	成果	<p>市内の11校から26名の児童が参加し、受入交流、派遣交流を通じて根城南部氏の縁でつながりのある各市町の歴史、文化等を学び、相互に交流を図った。八戸市児童47名、七戸町児童20名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入交流 平成20年7月25日（八戸市、七戸町児童来遠） ・派遣交流 平成20年8月3日～8月5日（八戸市、七戸町への遠野市児童派遣） 			実績値	参加児童	26名
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
913,000		878,410				878,000	410

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費	
事業名					教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）	単位：円
事業内容	1 市内小中学校の児童生徒（小2～小6、中1～中3対象）に対してNRT（標準学力検査）を実施する。			計画値	NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会開催 1回 環境科学発表会開催 1回	
	2 幼児ことばの教室の運営、ことばの教室の補助員の配置、適応指導教室の運営を行う。また、NRT（標準学力検査）を実施後に、その結果を基に各研究部会を開催し、課題に向けての研究、発表を行い、各学校へ還元する。					
成果	3 児童生徒が学習した成果の発表の場として環境科学発表会を開催し、優秀者に対し表彰を行う。			実績値	NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会開催 1回 環境科学発表会開催 1回	
	1 市内小中学校の児童生徒（小2～6、中1～3対象）に対してNRT（標準学力検査）を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。					
2 幼児及び児童のこたばの教室では、通級指導を受けることで、多くの児童がその障害を改善、解消することができた。また、適応指導教室では不登校児童への指導を行い、学校への復帰を支援することができた。						
NRT実施後の分析結果を基に、その課題に対して研究部会で研究を行うことで学力向上へ貢献することができた。						
3 環境科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表することで、より広い視野をもたせることができた。また、環境問題に関して意識を高めさせることができた。						
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
6,820,000		6,328,078				6,328,078

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費	
事業名					教育研究所事業費（社会科副読本編集事業費）	単位：円
事業内容	地域理解の推進と郷土を愛する心を育むため、地域の教材を活用した小学校3・4年生向けの社会科副読本の印刷製本を行う。また、中学生向けの社会科副読本については内容をインターネットで閲覧して活用する。			計画値	小学校社会科副読本の印刷製本 300冊	
	成果	小学校については社会科副読本を印刷製本し、小学校3年生に配付した。中学校についてはインターネットからの閲覧により活用した。			実績値	小学校社会科副読本の印刷製本 300冊
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
532,000		531,350				531,350

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	4 目	育 英 事 業 費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	向学心に燃える優秀な学生であるものの、経済的事由により修学が困難である者に対し、学資の貸与を行い、有能な人材を育成することを目的とする。また、平成20年度から、子育て支援策として、大学生7人、高校生3人の採用枠を増やす。			計画値	新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 8人 継続奨学生 大学生等 56人 高校生 6人	
	成果	平成20年度は新たに35人(大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者27人、高等学校に在学する者8人)を決定し、継続貸与者59人(大学生等53人、高校生6人)と合わせて、合計94人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。			実績値	新規奨学生採用数 大学生等 27人 高校生 8人 継続奨学生 大学生等 53人 高校生 6人
貸付状況						
・新規大学生等 27人 12,960,000円						
・新規高校生 8人 1,290,000円						
・継続大学生等 53人 25,240,000円						
・継続高校生 6人 1,080,000円						
計 40,570,000円						
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
43,940,000		40,943,095				35,968,136 4,974,959

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	5目	公 舎 管 理 費
事業名		公舎管理費			単位：円
事業内容	市立小中学校教職員の居住の用に供する公舎の管理及び使用に関し修繕などの必要な事務を行う。			計画値	教職員住宅 12棟
成果	教職員住宅の必要な維持管理及び修繕を行い、安全、安心な居住環境に資した。 ・修繕費 244,530円（5棟7件） ・建物火災保険料、下水道分担金 75,353円			実績値	教職員住宅 12棟 （入居12棟）
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
324,000	319,883			319,883	

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		小学校一般管理費			単位：円
事業内容	市内小学校の運営に必要な一般維持管理費用。			計画値	小学校 11校 学級数 82学級 児童数 1,484人
成果	適正な予算執行のもと、市内小学校の健全な学校運営が行われた。 ・需用費 50,303,282円 ・役務費 6,952,086円 ・委託料 9,525,435円 ・使用料及び賃借料 5,778,190円 ・職員（用務員）人件費 39,166,822円 等			実績値	小学校 11校 学級数 82学級 児童数 1,484人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
121,640,000	112,373,325			199,246	112,174,079

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（一般）			単位：円
事業内容	公共施設ロングライフ事業（一括管理委託方式）によらないパソコン、音楽、体育等の特殊な備品の維持修繕、砕石等の原材料費などを当管理費で支出し、健全な学習環境に資する。			計画値	対象施設：小学校 11校
成果	学校との密な連携を取りながら、維持修繕、管理の迅速な対応に努め、学習環境の健全化を図った。 ・修繕料 289,080円 ・手数料 284,129円 ・原材料費 145,186円 ・計 718,395円			実績値	対象施設：小学校 11校
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
950,000	718,395				718,395

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（単独・施設改修）			単位：円
事業内容	1 附馬牛小学校プールろ過器更新工事 2 鱒沢小学校防火扉改修工事 3 土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事			計画値	・附馬牛小学校プールろ過器更新工事 ・鱒沢小学校防火扉改修工事 ・土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事
	成果	附馬牛小学校のプールろ過器更新工事、鱒沢小学校の防火扉改修工事、土淵小学校の屋内運動場トイレ水洗化工事により、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。 1 附馬牛小学校プールろ過器更新工事 5,481,000円 2 鱒沢小学校防火扉改修工事 4,873,050円 3 土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事 7,249,800円等			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,824,000	17,783,850		5,200,000		12,583,850

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		学校保健管理費			単位：円
事業内容	児童、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。			計画値	児童数 1486人 教職員数 137人
	成果	児童及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診、寄生虫卵検査（1～3年生）、心臓検診（1・4年生）、生活習慣病予防検診（4年生）、脊柱側弯検診（5・6年生）、尿検査（全児童）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上）			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,706,000	8,385,080	16,000			8,369,080

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		通学対策費（スクールバス更新）			単位：円
事業内容	土淵小学校スクールバスの更新（平成6年登録車）			計画値	土淵小学校スクールバス更新（着座38人乗り）
	成果	平成6年3月登録、15年経過の土淵小学校スクールバスの更新を行うことで、より安全で快適な通学に資した。 土淵小学校スクールバス（着座38人乗り） ・購入費 11,550,000円 ・公課費（重量税） 69,300円 ・役務費（自賠責保険料ほか）55,800円			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
11,722,000	11,675,100	3,040,000	8,500,000		135,100

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		通学対策費			単位：円
事業内容	1 小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校に通学する児童を対象にスクールバスやスクールワゴンを運行する。 2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に早池峰バスに運行を委託する。 3 上郷小学校（来内）、青笹小学校（中沢）に通学する一部児童を対象にタクシーを運行する。 4 宮守小学校、達曽部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象にスクールバスを運行する。 5 遠距離通学児童（4km以上）に対し通学費の助成をする。 6 教育課程における児童移動のためのスクールバスを運行する。			計画値	・スクールバス・ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託） ・遠距離通学費補助金対象児童：37人
	成果	遠距離通学児童のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、徒歩の遠距離通学児童に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ・小友、土淵小スクールバス委託料 4,620,000円 ・土淵、附馬牛小スクールワゴン委託料 2,936,500円 ・早池峰バス委託料 1,731,906円 ・上郷、青笹小学校スクールタクシー委託料 789,350円 ・宮守、達曽部、鱒沢小学校スクールバス委託料 6,251,805円 ・遠距離通学補助金 291,200円 ・スクールバス特別運行委託料 861,525円 ・車両管理費用等 5,049,480円			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
23,392,000	22,531,766				22,531,766

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		教材整備費			単位：円
事業内容	各小学校運営のために必要な教材備品と図書の購入及びパソコンのリースを行う。			計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パソコンリース
	成果	各小学校において必要な教材備品を整備するとともに、図書購入にあつては各校の充足率を高める予算措置を行い、教育環境の充実を図った。また、パソコンリースにおいては更新に併せて教職員への公用パソコン配置も計画的に実施した。 ・教材備品購入費 2,821,860円 ・図書購入費 3,065,441円 ・パソコンリース料 16,801,260円 等			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
24,299,000	23,849,816				23,849,816

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		指導用教材整備費			単位：円
事業内容	小学校教師用教科書、指導書の整備を行う。			計画値	教師用教科書 11冊 教師用指導書 11冊
	成果	学校内での調整により、今年度は新しい教科書及び指導書の需要がなかった。			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
116,000	0				

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					就学援助費	単位：円
事業内容	経済的理由により、就学が困難である児童の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。				計画値	支給児童数 90人
成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 107人 1,427,209円 校外活動費 19人 46,337円 新入学用品費 14人 271,968円 修学旅行費 21人 464,344円 通学費 5人 28,000円 学校給食費 107人 4,274,491円 学校病医療費 15人 215,281円				実績値	支給児童数 110人
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
6,753,000		6,727,630		70,000		6,657,630

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					特別支援教育関係費	単位：円
事業内容	特別支援学級及びことばの教室の活動支援を行う。				計画値	特別支援学級 対象校：5校6学級 対象児童：13人 ことばの教室 設置校：2校 対象児童：30人
成果	特別支援学級及びことばの教室に対する消耗品費、印刷製本費の配当とともに、ことばの教室通学費補助金を5人に支給し、活動の支援を図った。				実績値	特別支援学級 対象校：5校6学級 対象児童：13人 ことばの教室 設置校：2校 対象児童：30人 通学費補助：5人
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
738,000		442,528				442,528

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					特別支援教育就学奨励費	単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。				計画値	支給児童数 13人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 13人 260,100円 学用品費 13人 78,221円 修学旅行費 1人 10,300円 新入学用品費 0人 0円 校外活動費 12人 9,060円 通学用品費 12人 13,020円				実績値	支給児童数 13人
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
405,000		370,701		120,000		250,701

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					体育・文化行事奨励費	単位：円
事業内容	小学校体育協会に対して事業補助を行い、市内小学校の体育事業に対して支援を行う。			計画値	事業補助 1団体	
成果	市内水泳記録会、陸上記録会の開催を支援することができた。			実績値	事業補助 1団体	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
693,000	693,000				693,000	

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					教育研究指定校費	単位：円
事業内容	土淵小学校、遠野北小学校に研究指定を行う。遠野北小学校は平成19年度から研究指定を行っており、2年目の今年度は学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 また、土淵小学校は指定の1年目で、土淵中学校と連携した教科における生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導の研究指定を行う。			計画値	研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回	
成果	遠野北小学校については学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の小学校にも還元することができた。 土淵小学校は1年目として基礎的研究を進め、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。			実績値	研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
263,000	255,085				255,085	

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	通常学級の児童で個別に支援を必要とする児童に対して特別支援教育支援員を配置し、担任の補助、児童への支援を行なう。 また、遠野小学校、遠野北小学校以外の小学校において言語指導が必要な児童に対して巡回指導を実施する。 さらに、遠野市内の学校に通学を希望する日本語を話せない外国人を対象とした日本語講師を配置し、対象児童生徒に日本語の指導を行う。			計画値	特別支援教育支援員 8名 ことばの教室巡回指導講師 1名 日本語指導講師 1名	
成果	特別支援教育支援員については、通常学級において支援が必要な児童に対して配置し、生活上、学習上の支援を行った。 ことばの教室巡回指導は、7校14名の児童を対象として指導を行い、改善に向けて効果的な指導ができた。 日本語指導講師は1名配置し、日本語を指導し、学校生活を支援することができた。			実績値	特別支援教育支援員 8名 ことばの教室巡回指導講師 1名 日本語指導講師 1名	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
10,000,000	8,942,222				8,942,222	

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	3目	学 校 建 設 費
事業名		綾織小学校改築整備事業費			単位：円
事業内容	校舎の改築 平成19年度 基本構想（平成18年度繰越分） 平成20年度 基本計画・基本設計（平成19年度繰越分） 実施設計、地質調査 平成21～22年度 校舎改築工事			計画値	【平成19年度繰越分】 基本計画・基本設計 【平成20年度分】 実施設計、地質調査
	成果	平成20年1月30日から基本計画・基本設計業務に着手したが、年度内での履行が困難なことから、平成20年度に事業を繰り越し、地域との協議を進め、平成20年8月29日に基本計画・基本設計業務が完成した。さらに、基本設計について地域合意を得たことから、地質調査、実施設計業務を行い、平成21年3月20日に実施設計業務が完成した。 【平成19年度繰越分】基本計画・基本設計業務 5,040,000円 【平成20年度分】実施設計業務 8,190,000円 地質調査業務 2,221,800円			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地 方 債
				そ の 他	一般財源
16,112,000		15,451,800			15,451,800

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	3目	学 校 建 設 費
事業名		遠野北小学校大規模改造等事業費			単位：円
事業内容	老朽化した校舎の大規模改造（校舎面積 3,319㎡）、屋内運動場及びプールの改築により、教育環境の整備を進める。 ・平成18年度 校舎耐震診断、屋内運動場耐力度調査 ・平成19年度 校舎大規模改造実施設計 ・平成20年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築実施設計、地質調査 ・平成21年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築工事 プール改築実施設計、改築工事			計画値	・校舎大規模改造工事 ・屋内運動場改築実施設計及び地質調査
	成果	事業計画に基づき、校舎の大規模改造工事 2,370㎡を行った。また、屋内運動場改築の実施設計及び地質調査を行った。 ・校舎大規模改造工事 158,189,350円 ・校舎大規模改造工事工事監理等 3,613,050円 ・屋内運動場実施設計及び地質調査 8,032,500円			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地 方 債
				そ の 他	一般財源
169,836,000		169,834,900		53,866,000	79,600,000
					36,368,900

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	3目	学 校 建 設 費
事業名		小学校施設耐震補強事業費			単位：円
事業内容	平成18年度に実施した耐震診断の結果、補強が必要と判定された3小学校の耐震改修設計を実施する。 ・遠野小学校（校舎） ・鱒沢小学校（校舎） ・土淵小学校（屋内運動場）			計画値	【平成19年度繰越分】 耐震改修設計対象 3校
	成果	平成19年12月補正で予算措置した耐震改修設計委託料及び判定手数料を、平成20年度に繰り越し、平成20年6月25日に耐震改修設計業務が完成した。さらに、当設計に基づく耐震改修工事の判定を受け、耐震化に向け準備が整った。 ・耐震改修設計業務 4,987,500円 ・耐震改修判定手数料 810,075円			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,150,000	5,797,575				5,797,575

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		中学校一般管理費			単位：円
事業内容	市内中学校の運営に必要な一般維持管理費用。			計画値	中学校 8校 学級数 39学級 生徒数 861人
	成果	適正な予算執行のもと、市内中学校の健全な学校運営が行われた。 ・需用費 45,914,812円 ・役務費 5,311,386円 ・委託料 9,015,953円 ・使用料及び賃借料 4,057,021円 ・職員（用務員）人件費 55,152,736円 等			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
124,306,000	119,556,948			40,119	119,516,829

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（一般）			単位：円
事業内容	公共施設ロングライフ事業（一括管理委託方式）によらないパソコン、音楽、体育等の特殊な備品の維持修繕、碎石等の原材料費などを当管理費で支出し、健全な学習環境に資する。			計画値	対象施設：中学校 8校
成果	学校との密な連携を取りながら、維持修繕、管理の迅速な対応に努め、学習環境の健全化を図った。 ・修繕料 2,178,173円 ・手数料 247,278円 ・原材料費 342,689円			実績値	対象施設：中学校 8校
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,850,000	2,768,140				2,768,140

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		学校保健管理費			単位：円
事業内容	生徒、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。			計画値	生徒数 861人 教職員数 102人
成果	生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全生徒）、耳鼻科健診、貧血検査（1・3年生）、心臓検診（1年生）、生活習慣病予防検診（1年生）、脊柱側弯検診（1年生）、尿検査（全生徒）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上）			実績値	生徒数 854人 教職員数 99人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,261,000	5,778,169	15,000			5,763,169

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		通学対策費			単位：円
事業内容	1 宮守中学校に通学する旧達首部中学校学区及び旧鱒沢中学校学区の生徒を対象にスクールバスを運行する。 2 遠距離通学生徒（6km以上）に対し通学費の助成をする。 3 教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。			計画値	・スクールバスの運行（3台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：40人
成果	遠距離通学生徒のため、スクールバスの運行を行い、通学難の解消を図った。また、徒歩の遠距離通学生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ・宮守中学校スクールバス委託料 5,455,695円 ・遠距離通学費補助金 212,000円 ・スクールバス特別運行委託料 549,675円 ・車両管理費用 1,678,429円			実績値	・スクールバスの運行（3台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：29人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,443,000	7,895,799				7,895,799

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		教材整備費			単位：円
事業内容	各中学校運営のために必要な教材備品と図書の購入及びパソコンのリースを行う。			計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パソコンリース
成果	各中学校において必要な教材備品を整備するとともに、図書購入にあっては各校の充足率を高める予算措置を行い、教育環境の充実を図った。また、パソコンリースにおいては更新に併せて教職員への公用パソコン配置も計画的に実施した。 ・教材備品購入費 1,998,920円 ・図書購入費 3,164,188円 ・パソコンリース料 14,508,655円 等			実績値	・教材備品購入 (59件) ・図書購入 (1,892冊) ・パソコンリース (253台)
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
21,299,000	21,048,849				21,048,849

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		指導用教材整備費			単位：円
事業内容	中学校教師用教科書、指導書等の整備を行う。			計画値	教師用教科書 8冊 教師用指導書 8冊
成果	不足する非常勤講師用教科書の整備を行った。			実績値	非常勤講師用教科書 4冊
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
60,000	4,454				4,454

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費
事業名		就学援助費			単位：円
事業内容	経済的理由により、就学が困難である生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給生徒数 85人
成果	就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 93人 2,321,094円 校外活動費 2人 9,520円 新入学用品費 32人 728,983円 修学旅行費 28人 2,069,679円 通学費 6人 64,460円 学校給食費 93人 4,601,280円 学校病医療費 10人 158,717円			実績値	支給生徒数 94人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,990,000	9,953,733	20,000			9,933,733

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		特別支援教育関係費			単位：円
事業内容	特別支援学級の活動支援を行う。			計画値	特別支援学級 対象校：3校3学級 対象生徒：9人
成果	特別支援学級に対し、消耗品費及び印刷製本費を配当し、活動の支援を行った。			実績値	特別支援学級 対象校：3校3学級 対象生徒：9人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
288,000	208,433				208,433

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		特別支援教育就学奨励費			単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施に努める。			計画値	支給生徒数 9人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。			実績値	支給生徒数 5人
	学校給食費	5人 125,375円	学用品費	5人 71,310円	
	修学旅行費	3人 83,850円	新入学用品費	1人 11,450円	
	校外活動費	1人 1,090円	通学用品費	4人 4,340円	
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
356,000	297,415	94,000			203,415

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		体育・文化行事奨励費			単位：円
事業内容	中学校体育連盟事業への補助、及び県大会、全国大会等への選手派遣についての助成を行う。 また、中学校文化連盟に対する補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。			計画値	事業補助 2団体
成果	中学校体育連盟は市内地区大会の開催に係る事業支援を行った。また、各競技で県大会、東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費の補助を行うことで中学生の部活動の支援を行うことができた。 中学校文化連盟に対しても事業補助を行い、市内中文祭開催をはじめ、各種文化活動の支援を行うことができた。			実績値	事業補助 2団体
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,860,000	2,848,000				2,848,000

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		教育研究指定校費			単位：円
事業内容	遠野中学校は教育課程全般に関する研究指定の2年目であることから学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 また、土淵中学校は指定の1年目で、土淵小学校との小中連携した教科における生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導の研究指定を行う。			計画値	研究指定校 2校
	成果	遠野中学校については学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の中学校にも還元することができた。 土淵中学校は1年目として基礎的研究を進め、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
263,000	252,350				252,350

10款	教 育 費	4 項	幼 稚 園 費	1 目	幼 稚 園 費
事業名		幼稚園運営事業費			単位：円
事業内容	教育基本法・学校教育法・幼稚園教育要領等の示すところに従い、幼児の教育を行う。			計画値	宮守幼稚園 鱒沢幼稚園 達首部幼稚園 開所延日数 699日 就園児童数 432人
	成果	幼児期に身に付けさせたい基本的な生活習慣と、体を動かす楽しさを子ども自身が獲得していくことができるように指導した結果、子どもたちも興味を持って取り組むようになった。			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
27,184,000	26,784,384			4,378,440	22,405,944

10款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		社会教育一般事務費			単位：円
事業内容	1 社会教育事業の運営に係る一般事務 2 岩手県更生保護協会事業補助 3 加盟団体（全国生涯学習市町村協議会、岩手県社会教育連絡協議会）に対する負担金 4 職員人件費等			計画値	補助金・負担金 3件
	成果	1 社会教育一般に係る事務を行い、内部事務の円滑な運営を行った。 2 岩手県更生保護協会事業に補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取り組みを支援した。			実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
55,970,000	55,716,146				55,716,146

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		生涯学習のまちづくり推進費			単位：円
事業内容	市民センター及び地区センターの生涯学習事業の推進、学びの出前講座などを開催する。 市民センター生涯学習事業の推進、学びの出前講座など学級講座及び各地区センター又は複数の地区が連携して行う学級・講座の開催 男女共同参画関係講座の開催 家庭教育関係講座の開催 民話のまち遠野ウォーキング大会の開催			計画値	学級講座開催 60回 受講者数 4,000人
	成果	市民センター及び各地区センターで生涯学習講座を60講座開催し、学習機会の提供とその奨励を図ることができた。 地区センター講座 41講座（1,997名） 市民センター講座 19講座（ 548名）			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地 方 債
1,610,000		1,309,636		そ の 他	一般財源
					1,309,636

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		青少年活動サポート事業費			単位：円
事業内容	本年度の青少年活動サポート事業については、下記の3つの柱とする活動を行う。 1 成人式「はたちのつどい」 2 少女少女囲碁・将棋教室 3 各種団体への補助及び補助金交付（遠野こどもまつり、遠野市青年団体協議会）			計画値	成人式対象者 市内252人、市外84人、合計336人 囲碁将棋教室 囲碁の部20人、将棋の部20人、合計40人
	成果	1 成人式（はたちのつどい） ・内容...主役となる新成人が成人式実行委員会を立上げ、企画・立案及び式の進行をすることで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出をお祝いする。 ・成果...実行委員を立上げたことで、自分達が考えたイベントを行うことで記念にもなり、行政がアドバイスすることで「市民協働」の成人式をおこなうことが出来た。 成人者287名（市内211名、市外76名）、参加率85.54%、来賓104名、一般234名、職員・青年会38名・・・総計663名 2 少女少女囲碁・将棋教室 ・内容...余暇時間に於いて、子どもたちが有意義に過ごせる場所の提供と囲碁・将棋の対局を通して他校の児童・生徒との交流、指導者との交流することで、より幅広い体験の機会を設け、集中力等を向上させることができ、指導者についても老人囲碁クラブの方々や将棋の協会の方による地域の人々の協力で市民協働を図れる。 ・成果...年間活動9回を通して、将棋の登録者20名中で皆勤者5名に準皆勤賞5名、囲碁の登録者7名中で皆勤者3名に準皆勤賞1名であり、活動については、ほぼ計画通りである。また、今年度から名札を個々に配ったり、名札の裏に実施日を記載したりなど、参加しやすい工夫をした。 3 各種団体への補助及び補助金交付 ・内容...こどもまつりを開催する「遠野こどもまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、こどもまつり開催の支援及び「遠野市青少年を育てる市民会議」では、青少年の健全育成のための種々の活動を支援を図る。 ・成果...遠野こどもまつりとして、児童館事業のわくわくフェスティバルと協同開催した。運動公園のスペースを有効に使い、大人が興味をひくことと子どもが楽しめる場所が出来たことで、うまく相乗効果を図ることができたと考えられる。			実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地 方 債
1,465,000		1,210,682		そ の 他	一般財源
					1,210,682

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。 2 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。 3 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。 4 遠野市民センターパレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実に図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。				計画値	芸術文化協会加盟団体の自主事業数 9回 市民協働の自主事業の参加者数 1,750人 市民協働の自主事業の鑑賞者数 7,600人
	成果	1 遠野市芸術文化協会加盟（16団体）自主事業発表会 (1)第3回遠野市民芸術祭 10月26日（日）合同茶会 観覧者260人、参加者41人 11月1日（土）～3日（月） ・舞台合同発表会 観覧者814人、参加者463人（32団体） ・総合展示会、菊花展 観覧者1,732人、参加者445人（25団体4個人、1,384点） (2)遠野市芸術文化協会等主催事業 ・大ホール6団体 観覧者3,891人、参加者620人 ・中ホール4団体 観覧者450人、参加者190人 ・みやもりホール5団体 観覧者1,140人、参加者203人 ・とびあ1団体 観覧者150人、参加者25人 2 第34回市民の舞台遠野物語ファンタジー「火渡館の変」 ・平成21年1月31日（土）、2月1日（日） 3回公演（遠野市民センター大ホール） ・観覧者 2,011人 ・参加者325人（スタッフ、キャスト、音楽（合唱、吹奏楽）） 3 演劇・演奏会等の開催 (1)宝くじまちの音楽会 「南こうせつwithウー・ファン 心のうたコンサート」 6月28日（土）、市民センター大ホール、観覧者870人 (2)市原悦子「朗読とお話の世界」 7月25日（金）、みやもりホール、観覧者284人 (3)松竹特別公演「嘉島まつり」「狐狸狐狸ばなし」 8月27日（水）、市民センター大ホール、観覧者510人 (4)あんべ光俊 それからの『遠野物語』コンサート 12月7日（日）、市民センター大ホール 観覧者674人、参加者174人 4 遠野市民センターパレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実 (1)遠野市民センターパレエスタジオ ・毎週、金・土曜日の通常レッスン ・第31回発表会 11月23日（日）市民センター大ホール 観覧者517人、参加者106人 (2)遠野少年少女合唱隊 ・毎週土曜日の通常レッスン ・第19回発表会 11月29日（土）市民センター中ホール 観覧者71人、参加者45人				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
24,311,000	23,415,312			20,902,200	2,513,112	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	単位：円
事業内容	個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について市民への意識啓発を行う。				計画値	補助金 1件
	成果	関係団体と連携し、男女共同参画基本計画の一部見直しを行った。				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
446,000	209,856				209,856	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費		
事業名					家庭教育支援総合推進事業費	単位：円	
事業内容	家庭における教育を支援することを目的に家庭教育に関する学習機 会の提供と充実を図る。 ・家庭教育ゼミナールの開催 ・家庭教育講演会の開催			計 画 値	家庭教育ゼミナール 開催 12回 家庭教育ゼミナール 参加者 1,000人 家庭教育講演会 1回		
成 果	・当課の事業の一つである「地域で子供を育てる活動発表会」の中で 岩手大学教育学部教授による家庭教育講演会を実施し、多くのPT A 会員に家庭教育について学習機会を提供することができた。 ・家庭教育ゼミナールを開催した。市内12会場、参加者1,125人			実 績 値	家庭教育ゼミナール 開催 12回 家庭教育ゼミナール 参加者 1,125人 家庭教育講演会 1回		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
485,000		285,095					285,095

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費		
事業名					学社連携プログラム推進事業費	単位：円	
事業内容	本年度の学社連携プログラム推進事業については、下記の4つの柱 とする活動を行う。 1 少年少女ふるさと発見探偵団 2 子ども活動サポーター 3 放課後子どもプラン 4 子ども寺子屋放送局			計 画 値	少年少女ふるさと発 見探偵団 活動回数 7回 登録団員 25人 延べ参加人数 175人		
成 果	1 少年少女ふるさと発見探偵団 ・内容...市内の異なる地域・異なる年齢の子どもたち(小学4～6年 生)が、郷土の自然や歴史を楽しく学びながら、共に様々な体験活 動を通して、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係を築 き、社会の規範を守ることができる子どもの育成を図ることを目的 に、年7回を実施した。 ・成果...登録団員が22人、年間を通して7回の活動を行い、延べ参加 団員が132人(保護者参加が延べ13人)であった。 2 子ども活動サポーター ・内容...子どもが規律のある団体行動が行うことができるような声 がけや子どもたちに危険がないように見守ること、諸々の子どもたち の相談に応じてもらうことともに、サポーター自ら指導者としての 学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての向上を図る。 ・成果...一般、岩手大学及び市内高校からボランティアを募集して登 録者25人。ふるさと発見探偵団の活動やこどもまつりに参加した。 3 放課後子どもプラン ・内容...児童館・学校・地域と連携し放課後子ども教室を開催し、安 全な放課後の居場所づくりとともに子どもたちの自主学習の仕方 や習慣化の契機づくりを図る。 ・成果...放課後子ども教室を6小学校で開催し、学習アドバイザー、 安全管理員を派遣し6教室で延べ235回実施した。			実 績 値	少年少女ふるさと発 見探偵団 活動回数 7回 登録団員 22人 延べ参加人数 132人 放課後子ども教室 6教室(小学校区)		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,493,000		2,003,282		1,120,000			883,282

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費		
事業名					都市交流推進事業費	単位：円	
事業内容	・ 武蔵野市との児童交流により、普段の生活と違った体験を行うこ とによる人づくりとまちづくりを進める。 ・ サレルノ姉妹都市交流により、人、文化の交流から市民の国際理 解と国際協力思想の高揚を図る。			計 画 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生20人、引率保 護者4人、事務局2人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭 遠野賞1		
成 果	・ 武蔵野市との児童交流 市内小学生4年生、6年生20人派遣 引率保護者4人 事務局2人 ・ サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞、カレンダーの送付			実 績 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生20人、引率保 護者4人、事務局2人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭 遠野賞1		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
818,000		760,666				760,666	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名					公民館一般管理費	単位：円
事業内容	地区センター施設の適正な維持管理に心がけ、地域活動、生涯学習施設として地域住民が集い、安全で快適に地域づくり活動や学習活動ができる環境をつくる。			計画値	H20公民館使用料 計画 650,000円 平成19年度実績 利用件数 3,608件 利用人数 70,651人	
成果	施設を適正に維持管理したことにより、人身事故等もなく、施設の提供ができた。 地域活動、生涯学習の場として、地域住民が集い、地域づくり活動や学習活動に利用された。			実績値	H20公民館使用料 実績 1,277,822円 平成20年度実績 利用件数 3,700件 利用人数 67,280人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
37,301,000	32,217,581			1,954,915	30,262,666	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名					文化交流施設管理費	単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営や文化の発信、生涯学習、交流の場としてのサービスを図る。 効率的な施設管理、運営を行うため、民間活力を生かし、指定管理者を指定する。 			計画値	施設利用者数 12,000人	
成果	市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。発表会、演奏会等では、舞台操作の専門スタッフが充実したサービスを提供し、利用者・来場者から好評であった。			実績値	施設利用件数 700件 施設利用者数 16,608人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
18,407,000	18,403,835				18,403,835	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					図書館・博物館一般管理費	単位：円
事業内容	利用者が安心して利用することができるように、図書館博物館の維持管理のために必要な業務を行う。 職員の人件費、光熱水費、通信費用の支払。施設の修繕。 必要な消耗品、燃料の購入。各施設の火災保険加入。 警備、清掃及び各種保守点検の委託、複写機等の借り上げ等を実施。			計画値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回、ボイラ整備点検1回、空調機器点検3回、油タンク点検清掃1回、エレベーター点検12回	
成果	博物館トイレ修繕1箇所、冷却水循環配管修繕1箇所、消防設備不良箇所修繕。 館内清掃業務12ヶ月、館内夜間警備業務12ヶ月。 館内水質検査2回、電気点検6回、照明音響映像点検12回、ボイラ整備点検1回、油タンク点検1回、エレベーター点検12回、空調機器点検1回、建物衛生管理委託、自動ドア点検			実績値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回、ボイラ整備点検1回、空調機器点検3回、油タンク点検清掃1回、エレベーター点検12回他	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
82,621	80,028,549				80,028,549	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					図書館費	単位：円
事業内容	市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理して図書資料の貸出し、読書相談、参考業務など読書活動の推進を図る。特に「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、生きる力に満ちた明るく元気で行動力のある「遠野っ子」の育成を目指す。 このことにより、学校・家庭・地域との役割を認識し、連携、協力して読書に親しむ環境の整備と充実に努め、また読書に関する理解と関心を深める啓発活動を推進する。			計画値	図書館の利用者数 18,300人 蔵書冊数174,200冊 市民への図書貸出冊数76,000冊 移動図書館車の貸出冊数5,800冊 学校図書館への貸出冊数12,000冊	
	成果	図書資料等の充実や図書館教室開催等の啓発活動によって、読書推進を図った。 ・図書館教室の開催(小学校7校)・多読者表彰の推進(2回)・調べ学習に対応した図書貸出(小中学校7校)・テーマ別図書展の開催(10回) ・ブックスタート(読み聞かせ等)の開催(12回)・読み聞かせの広場(12回)・移動図書館車の巡回運行(全地区対象)・施設貸出文庫の推進(小学校10校)			実績値	図書館の利用者数 24,166人 蔵書冊数177,214冊 市民への図書貸出冊数107,407冊 移動図書館車の貸出冊数8,312冊 学校図書館への貸出冊数12,510冊
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
23,156,000	22,975,977				22,975,977	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					博物館費	単位：円
事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。また特別展・講演会を開催し、研究成果を広く市民に公開し発信する。			計画値	博物館入館者数 28,600人 博物館講座等受講者数 760人	
	成果	テーマ展示「遠野南部氏28代義顔公」、「医学者 和田元庸」、特別展「思い出のチカラ」を開催し、遠野の情報を広く市内外に発信した。博物館講座及び博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに答えた。			実績値	博物館入館者数 22,470人 博物館講座等受講者数 1,025人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
12,026,000	11,192,936			5,282,464	5,910,472	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					博物館展示改修事業費	単位：円
事業内容	『遠野物語』発刊100周年記念事業として遠野市立博物館の展示リニューアルを行う。 平成19年度 展示改装基本計画の策定 遠野の四季盤面交換 平成20年度 展示設計・建築設計 平成21年度 施工			計画値	展示改装実施設計	
	成果	平成22年度リニューアルオープンに向けた展示改装実施設計、図書館博物館改修実施設計を、計画どおりに実施することができた。			実績値	展示改装実施設計 図書館博物館改修実施設計
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
35,228,000	35,227,500		20,500,000	13,600,000	1,127,500	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		とおの昔話村管理費			単位：円
事業内容	とおの昔話村の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社			計画値	開村日数 365日 前年度入村者数 55,890人
成果	遠野に伝承されてきた昔話等の紹介と継承を通じて、遠野の文化を市内外に発信した。 開村日数 365日 来村者数 39,975人			実績値	開村日数 365日 20年度入村者数 39,975人
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
16,783,000		16,063,950		その他 一般財源	
				11,384,774 4,679,176	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		視聴覚教育振興事業費			単位：円
事業内容	生涯学習時代に対応し得る視聴覚教育のあり方を探求し、地域の視聴覚教育の向上に資するものである。また、県内10地区のライブラリーと連携を図り、視聴覚機材・教材の利用促進、情報提供等に努める。主要な施策は次のとおり ・視聴覚ライブラリー事業としての視聴覚機材・教材等の整備及び管理をする。 ・視聴覚機材・教材等の相互貸借の促進及び視聴覚教育の情報提供する。			計画値	機材の貸出数80個 教材の貸出数70本 親と子の映画会12回 教材選定試写会1回 特別映画会8回
成果	視聴覚教育の向上に資した事業が推進された。 ・視聴覚機材及び教材の貸出し ・親と子の映画会の開催（12回） ・教材選定の試写会開催（1回） ・特別映画会の開催（11回）			実績値	機材の貸出数96個 教材の貸出数86本 親と子の映画会12回（観賞者138人） 教材選定試写会1回（教材選定9本） 特別映画会11回（観賞者449人）
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
885,000		855,484		その他 一般財源	
				855,484	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		遠野物語研究所運営事業費			単位：円
事業内容	遠野物語研究所は「設立の趣旨」を推進するための拠点となるものであり、遠野市はその業務を委託した。 ・設立の趣旨=「民話のふるさと」「民俗学発祥の地」を標榜し築いてきた文化の基盤を一層強固なものとする。行政と民間の協調により『遠野物語』を中心とした歴史民俗文化の調査研究を深め市民文化としての普及を図る。また、遠野来訪者に対する研究支援などを行う。民間研究団体を中心に市民が多数参加できる文化活動を展開するなど市の活性化に努める。			計画値	遠野物語教室 開催18回 参加者300人 遠野物語ゼミナール 開催2回 参加者95人 遠野学会 開催1回 参加者50人
成果	遠野物語研究所運営事業（委託）の「設立の趣旨」に沿った事業が推進された。 ・『遠野物語』教室開催（8回） ・昔話教室開催（10回） ・『遠野物語』ゼミナール2008開催（6/24東京会場 8/23,24遠野会場） ・第13回遠野学会開催 ・「遠野物語通信第25号」の編集発行（1,000部） ・遠野物語研究所別冊「遠野物語と21世紀」編集			実績値	遠野物語教室 開催18回 参加者 414人 遠野物語ゼミナール 開催2回 参加者 398人 遠野学会 開催1回 参加者 44人
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
4,944,000		4,944,000		その他 一般財源	
				4,944,000	

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	3目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		遠野城下町資料館管理費			単位：円
事業内容	遠野城下町資料館の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社			計画値	前年度入館者数 13,174人
成果	遠野南部家1万2千石の城下町である遠野の歴史と文化を市内外に発信した。 入館者数 9,765人			実績値	20年度入館者数 9,765人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,521,000	3,666,416			634,780	3,031,636

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	3目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		遠野蔵の道ギャラリー管理費			単位：円
事業内容	遠野蔵の道ギャラリーの維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社 創作活動室・市民ギャラリーの貸出 おもちゃの貸出			計画値	前年度入館者数 13,155人
成果	市民に芸術文化活動の発表の場を提供することにより、市民文化の向上に貢献した。 入館者数 10,299人			実績値	20年度入館者数 10,299人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,067,000	4,840,486			402,479	4,438,007

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	3目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		博物館写真資料デジタル化整備事業費			単位：円
事業内容	博物館で保管している写真・フィルム7万点のデジタル化及びデータベース整備を行う。 平成20年度 デジタル化・データベース整備 平成21年度 データベースへの情報入力			計画値	7万点の写真及びフィルム のデジタル化・データベース 整備
成果	博物館で保管している写真・フィルム7万点のデジタル化及びデータベース整備を行い、膨大なデータをパソコン上で検索できるようになり、事務の効率化が図られた。			実績値	7万点の写真及びフィルム のデジタル化・データベース 整備
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
13,290,000	13,062,000		12,400,000		662,000

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	3目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		宮守ゆうYOUソフト館管理費			単位：円
事業内容	図書館の分館と位置づけ、市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理し、図書の貸出しを中心に読書活動の推進を図る。また、施設の管理に係る業務を行う。			計画値	利用者数900人 蔵書冊数10,500冊 貸出冊数1,800冊
成果	図書資料の充実や読書活動の推進によって、市立図書館分館としての機能・役割を果たすことができた。 施設管理：施設警備委託、電話機等賃貸借契約			実績値	利用者数1,288人 蔵書冊数10,671冊 貸出冊数5,065冊
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,798,000	1,602,993				1,602,993

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	4目	文 化 財 調 査 保 護 費
事業名		文化財調査保護費			単位：円
事業内容	当市の貴重な文化財の調査・保護・啓蒙活動を通じて文化都市としての資質を高め、市民の文化向上を図ることによって精神的豊かさを提供する。 (1) 指定文化財及び一般文化財の調査・保護啓蒙の実施 (2) 郷土芸能の保護と育成			計画値	文化財の指定110件 (累計) 文化財教室15回 " 受講者数330人 民俗芸能団体数(累計)65団体 民俗芸能の映像記録 団体数17件(累計)
成果	文化財の調査、保護保存にあたっては、仙台屋の主屋等6棟の調査等を実施した(平成20年7月8日、国の登録文化財に登録)。また、文化財への理解と関心を深めるため学習会等を開催した。 郷土芸能活動の推進にあたっては、郷土芸能の保存、伝承を図るため共演会の記録を行った。同じく、3団体の必要な用具等の整備を行った。また、郷土芸能の公開、発表の場を確保し民俗芸能の理解と認識を高めるため、共演会開催にかかる経費の一部を補助し、地域に伝わる無形文化財の継承に努めた。			実績値	文化財の指定132件 (累計) 文化財教室14回 " 受講者数359人 民俗芸能団体数(累計)65団体 民俗芸能の映像記録 団体数16件(累計)
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,230,000	4,490,802				4,490,802

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	4目	文 化 財 調 査 保 護 費
事業名		埋蔵文化財発掘調査事業費			単位：円
事業内容	埋蔵文化財を発掘調査し分析することで、この地に生きてきた先人の足跡を明らかにし、未来を考える材料を得ることができる。 そのため、開発行為で消滅する埋蔵文化財包蔵地を事前に把握するため分布調査を実施し、必要に応じて工事立会や試掘調査を実施する。また、市内でこれまでに発見された膨大な量の遺物や、調査記録を適切に整理し管理する。そのための施設である文化課分室の維持・管理を行なう。事業実施のために非常勤職員を任用する。			計画値	開発行為に伴う分布 調査・工事立会・試 掘調査 一式 非常勤職員任用 2名
成果	・開発行為に伴う分布調査件数 35件 ・開発行為に伴う工事立会件数 1件 ・開発行為に伴う試掘調査件数 3件 ・遺物や調査記録を適切に整理し管理した (分室移転に伴い再整理を実施した) ・文化課分室の適切な維持・管理を行なった			実績値	開発行為に伴う分布 調査 35件 工事立会 1件 試掘調査 3件 非常勤職員任用 2名
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,344,000	5,019,120				5,019,120

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費
事業名		千葉家重要文化財指定整備活用事業費			単位：円
事業内容	文化庁の指導に基づき、重要文化財「千葉家住宅」の保全整備の方針をまとめるための資料を収集作成し、及び修復に向けて管理活用計画を作成するための検討を行う。 また、火災から建造物を守るため、自動火災報知機の設置を行うため、国庫補助申請に必要な資料の作成を行う。			計画値	・文献資料の調査と資料の収集 ・保全整備準備会の開催 ・修復概算事業費算出のための調査 ・自動火災報知機補助事業申請資料の作成
成果	・文献調査を行い、千葉家の建造物の成り立ち、歴史資料に記されている千葉家の状態について資料を収集した。 ・千葉家住宅保全整備準備会を開催し、委員の意見を取りまとめた。 ・修復に向けて修復概算費用の算出のため、文化財建造物保存技術協会により調査を行った。 ・自動火災報知機設置について、国庫補助事業を申請するための関係資料の作成を行った。			実績値	・文献調査及び資料一式 ・保全整備委員会 1回 ・修復概算調査 1回 ・自動火災報知機国庫補助申請資料の作成 一式
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
150,000	14,780				14,780

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費
事業名		遺跡分布調査事業費			単位：円
事業内容	平成17年度から4ヵ年計画で宮守町の遺跡詳細分布調査を実施している。遺跡詳細分布調査を実施して遺跡地図を作成することにより、埋蔵文化財保護の基礎資料を整備しようとするものである。 平成20年度は、これまでの調査の補足として達曽部地区を踏査する。地域の様相を知るために重要な遺跡について、試掘調査を実施する。調査の成果を報告書及び遺跡地図にまとめる。			計画値	補足踏査 一式 試掘調査 2遺跡 報告書 300部 遺跡地図 300枚
成果	・新規遺跡発見数 18遺跡 ・試掘調査件数 2遺跡 小屋畑遺跡 - 旧石器時代の炭化物検出 達曽部大畑遺跡 - 縄文時代の住居2棟検出 ・総括報告書の刊行 300部 ・新市遺跡地図の刊行 300枚			実績値	達曽部地区補足踏査 新規発見遺跡 18遺跡 試掘調査 2遺跡 報告書 300部 遺跡地図 300枚
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,018,000	3,002,652	1,500,000			1,502,652

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費
事業名		遠野遺産認定事業費			単位：円
事業内容	市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進するため、市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し光を当て、遺産をめぐる活動を支援する。活動の支援は、地域生活課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。			計画値	認定件数 20件 リーフレット発行部数 4,000部
成果	遺産の公募を1回実施、認定を行った。地域では保護活動の事業を実施した。広報のため遺産ガイドブック発行、配布した。 認定件数 - 27件（第3回） 広報パンフレットの発行 - 遺産周知用5,000部 遠野遺産制度視察・講話対応 - 5回（亀山市、菊池市、新庄市等） 補助金を活用した活動の実施 - 11事業（地域生活課と連携） 東北こんそコラボサミット2009地域づくり見本市への参加			実績値	認定件数 27件 リーフレット発行部数 5,000部
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
540,000	276,406				276,406

10 款	教 育 費	5 項	社会教育総務費	4 目	文化財調査保護費
------	-------	-----	---------	-----	----------

事業名		文化的景観保存事業費				単位：円
事業内容	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた本市独特の景観を将来に残し伝えていくため、国の重要文化的景観選定に向け、調査を実施する。				計画値	荒川高原牧場追加調査 荒川駒形神社保存計画書作成 重要文化的景観選定 土淵町山口集落調査
	成果	馬産の守護神として重要な役割を担ってきた荒川駒形神社の境内・参道とその関連施設の調査を実施し、保存計画書を作成した。平成20年3月28日に「荒川高原牧場」が選定された国の重要文化的景観に、荒川駒形神社が平成21年2月12日に追加選定された。 また、柳田國男の『遠野物語』発祥の地であり、里山的な景観が保存されている土淵町山口集落の重要文化的景観選定に向け調査を実施した。				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,020,000	2,001,482	1,000,000			1,001,482	

10 款	教 育 費	6 項	保健体育費	1 目	保健体育総務費
------	-------	-----	-------	-----	---------

事業名		スポーツ健康一般事務費				単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康課一般事務費 ・スポーツ振興審議会 ・遠野市体育指導委員活動 ・学校開放事業 ・全国市長会損害賠償補償保険 				計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業実施 ・全国市長会損害賠償補償保険加入 ・体指定例会6回
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業を行い、市民へ学校体育施設の提供を行った。 ・全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険へ加入 ・遠野市体育指導委員定例会6回開催 				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
26,850,000	26,727,341			1,340,525	25,386,816	

10 款	教 育 費	6 項	保健体育費	1 目	保健体育総務費
------	-------	-----	-------	-----	---------

事業名		競技・イベントスポーツプログラム推進事業費				単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市のスポーツ振興並びに普及活動 ・各種スポーツ教室、子ども教室の開催及び支援 ・各種スポーツイベント開催及び支援 ・町民運動会開催への支援 ・遠野市体育協会並びに遠野市スポーツ少年団本部への補助金交付 				計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業補助2団体 ・各種教室開催
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市体育協会へ補助金交付 ・遠野市スポーツ少年団本部へ補助金交付 				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
10,947,000	10,879,325				10,879,325	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		ジュニアレベルアッププログラム推進事業費				単位：円
事業内容	遠野市の競技スポーツ力向上を図るため、競技種目ごとにジュニアスポーツクラブを育成支援し、さらにクラブの連合による競技型の総合型地域スポーツクラブとして、育成支援、一環指導システムの構築を推進する。				計画値	・事業補助 2 団体 ・養成塾 1 回 ・スポーツアドバイザー事業 2 回
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校野球部並びに野球スポーツ少年団を対象に、石井野球教室を開催し、少年野球のレベルアップを図った。 4 回 17 日開催 延べ19チーム参加 ・市内スポーツ少年団、中学校、高校サッカー一部を対象にトップレベルの指導者によるサッカー教室を開催し、競技力の向上を図った。 16 回開催 延べ受講者人数1,411人 ・スポーツ少年団並びにジュニアスポーツクラブ等の指導者を対象としたスポーツリーダー養成塾を開催し、指導者の指導力向上に努めた。 2 回開催 延べ受講者数814名 ・市内小中学生を対象に、トップレベルの指導者を招聘し（スポーツアドバイザー事業）、スポーツレベルの向上を図った。 2 回開催 受講者数130名 				実績値	・事業補助 2 団体 ・養成塾 2 回 ・スポーツアドバイザー事業 2 回
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,300,000	3,187,081				3,187,081	

10 款	体 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		岩手国体開催競技誘致事業費				単位：円
事業内容	平成28年に岩手県で開催が予定されている第71回国民体育大会のサッカー競技(少年男子の部)を誘致し、市のスポーツ文化の振興、普及並びに市民への健康づくりのさらなる推進を図る。				計画値	サッカー競技少年男子の部会場地誘致
成果	本市がサッカー競技少年男子の部会場地として内定した。				実績値	サッカー競技少年男子の部会場地内定
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
200,000	146,440				146,440	

10 款	教 育 費	06 項	保 健 体 育 費	02 目	学 校 給 食 費
------	-------	------	-----------	------	-----------

事業名		学校給食事業費				単位：円
事業内容	<p>学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成などを目標としている。目標達成のために、「地産地消」及び「食育」の推進、学校訪問及び栄養指導、衛生管理に取り組んだ。</p> <p>年間の給食実施回数：小学校170回、中学校168回 給食供給人数：2,645人</p>				計画値	<p>年間供給食数 447,644食</p> <p>米飯日数 小 130回 中 129回</p> <p>パン日数 小 40回 中 39回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 29%</p>
成果	<p>文科省通達「学校給食衛生基準」等を遵守し、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食の提供に努めた。また、遠野で生産される食材を積極的に利用し、地場産品の消費拡大を図るとともに、「遠野旬を食べよう給食」を年4回実施して、郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めた。学校栄養職員が学校を訪問し、栄養指導等（各学年2回、宮守は各学級年1回）を行い、食事のマナーや望ましい食習慣などの意識付けがなされた。</p>				実績値	<p>年間供給食数 447,644食</p> <p>米飯日数 小 130回 中 129回</p> <p>パン日数 小 40回 中 39回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 37.9%</p>
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
278,622,000	269,320,419			122,293,976	147,026,443	

10 款	体 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費
------	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		体育施設管理費（一般）				単位：円	
事業内容	<p>市が所有する体育施設の維持管理を行う。平成19年7月からは指定管理者制度を導入し民間活力を生かした施設の管理運営を実施することにより、より質の高いサービスの提供に努める。</p> <p>また、不具合箇所の早期修繕を実施し、安全な施設の提供に努める。</p>				計画値	施設利用者数 219,000人	
	成果	<p>施設の適正な維持管理に努めた結果、大きな事故等もなく施設の利用提供ができた。</p> <p>また、市からの委託業務の他に指定管理者が独自にスポーツ教室等を開催したことに伴いサービスの充実が図られた。施設利用者数については、冬期間に実施された市民プール改修工事によりプール利用者は減少したものの、全体的には計画値を上回った。</p>				実績値	施設利用者数 220,934人
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
87,837,000		87,481,861				4,416,750	83,065,111

10 款	体 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費
------	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		体育施設管理費（単独）				単位：円	
事業内容	<p>市民プールの改修工事を行う。</p> <p>市民プール改修工事 内訳・内外壁改修工事 ・プール槽、プールサイド塗装工事 ・ろ過1号塔修繕</p>				計画値	計画工事数 1件	
	成果	<p>市民プールの改修工事を行った。</p> <p>市民プール改修工事 37,356,900円 内訳・内外壁改修工事 ・プール槽、プールサイド塗装工事 ・ろ過1号塔修繕</p>				実績値	実施工事数 1件
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
37,357,000		37,356,900			35,400,000		1,956,900